

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901407		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホームらい鳥 2階		
所在地	北海道旭川市末広4条7丁目5番5号		
自己評価作成日	令和1年8月1日	評価結果市町村受理日	令和1年10月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901407-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901407-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

建物の2階、3階がグループホームです。朝陽、夕陽がとても美しく兔に角明るく見晴らしが良い所です。  
母体は医療法人で日常の健康管理、急変時、看取り等、医療と連携しているので利用者様は安心して過ごして頂いています。  
利用者様は80歳から102歳の方が入所され男性5名、女性12名と計17名。平均年齢90歳。食欲旺盛でそれぞれ自分のペースでのんびり生活をされています。  
職員は19歳から75歳と老若女女で男性は残念ながらおりません。個性的で自己主張が強いもののび仕事をしています。  
誰かが困っていると力を発揮、他者を思いやる気持ち、チームケアは自慢できる所です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市郊外のバス通りに面した住宅地にある2ユニットのグループホームである。建物は3階建てで、2階と3階が各1ユニットとなっている。母体病院やバス停、スーパーが近く、その他にも関連法人の複数の介護関連施設が集まっている。共用空間が広く明るく清潔で、エレベーターや空調などの設備があり、トイレや浴室も使いやすく整えられている。長く勤める職員が多く、職員同士の連携がよく取れている。また、計画的に研修を行い、知識の向上に努めている。馴染みの関係継続の面では、数名の利用者が、近くのスーパーへの買い物に行っており、今後も利用者の希望を聞きながら個別に好きな場所への外出を支援する方針としている。ケアマネジメントの面では、計画的なモニタリングと計画の見直しが行われ、前回の外部評価で課題となっていたモニタリングシート様式や個人記録方法について、介護目標項目に沿ってモニタリングや記録を行うよう改善されている。医療面では母体病院の往診があり、医師とは24時間、携帯端末で利用者の状況や対応についてやり取りができるようになっている。利用者や家族の意向に沿って看取りができる体制とし、過去に複数の看取りを行っている。また、看取り実施後の振り返りの研修も実施している。居住環境や医療面での安心が確保され、快適に過ごすことができるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	見えるところに理念を掲示し職員全員で共有し実践に繋げている。	運営理念の中のケア理念に「地域の中で共に生きる」という文言を掲げ、地域密着型サービスの意義を踏まえたものとしている。理念を共用部分に掲示し、ミーティングの際に理念の内容を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への散歩、スーパーへの買い物、定期的に理容士さんに訪問して頂き地域との繋がりを大事に日常的に交流を図っている。	買い物の際に地域の方に挨拶をしたり、オカリナ演奏のボランティアの来訪を受けている。一方、地域の行事や事業所の行事で地域の方と触れ合う機会は少ない。	利用者が地域の行事に参加したり、事業所の行事に地域の方の参加を得るなど、住民との交流が実現できるような取り組みを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて利用者様も参加して頂き普段の様子を見て頂くことで認知症について理解を深めて頂けるように支援やサービスの向上に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に参加して頂き意見や助言を参考にサービス向上に努めている。	運営推進会議を年6回開催し、市役所職員、町内会長、利用者が参加しているが、家族の参加は得られていない。防災や研修報告を話し合っているがテーマが限られている。	会議に家族の参加が得られるよう、働きかけを期待したい。また、会議のテーマについて例えば感染症対策、介護保険制度など、より幅広くテーマとして取り上げ、話し合うことを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	不明な点はその都度確認、相談をしアドバイスを受けている。	市役所の集団指導に参加し、情報提供を受けている。事業所の片方のユニットを再開設する際に各種の問い合わせを行った。近所で認知症カフェがある際には事業所職員がボランティアで協力している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束において具体的な行為を理解する為定期的に研修を行い、拘束を行わないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止マニュアルを用意し、内部研修で禁止事項を確認している。やむを得ず拘束を行う際には家族の同意を得、適正化会議で必要性を都度、確認している。各ユニットからエレベーターホールへは自由に出入りができ、ドアに鈴をつけ、出入りが分かるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止について研修を行い防止と早期発見ができるよう努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修は行っているが現在、対象となる利用者様はおりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約等、利用者様、ご家族様に不安や疑問が残らないよう対応に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱の設置。要望が有った場合は支援経過に記載し運営に反映できるよう努めている。	家族の来訪時に意見を聞き、得られた意見を申し送りノートなどに記録している。今後は、利用者ごとの家族ノートの作成も検討している。また、毎月利用者ごとの手紙を作成し、家族に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、定例ミーティングや管理者会議で運営に関する意見や提案を聞く機会を設け運営に反映できるよう努めている。	月1回、ミーティングを開催し職員同士の活発な意見交換が行われている。管理者と職員の面談を随時行っている。職員はそれぞれ、議事録作成や行事企画などの役割を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の把握に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は充実しているが外部研修の参加は少ない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターの職員との交流の場はあるが他同業者との交流はほとんどない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、ご家族様から聞き取りをさせて頂き安心して生活を始められるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様から話を聞き、気持ちに寄り添い不安がないよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用を開始する段階で利用者様ご家族様が必要としているサービスをグループホーム以外のサービスを含めた助言、提案をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お手伝いのお願いや共同作業、また、室内の飾り等の作成を一緒に行ったり外気浴に出かけたり意思疎通を図り暮らしを共に関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には利用者様の近況をお伝えし、ご家族様に他科受診に同行して頂いたり、生活に必要な物が有れば購入して頂いたり、職員が対応したりご本人様を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友人の面会、顔なじみの訪問理容の利用等、今までの暮らしが継続して頂ける様支援している。	2～3名の利用者に友人や親戚が来訪している。親戚と一緒に元の自宅に行く方もいる。数名の利用者が、近くのスーパーへの買い物に行っている。今後も利用者の希望を聞きながら個別に馴染みの場所への外出を支援する方針としている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が穏やかに過ごして頂けるように居場所を確保したり、利用者様に合った過ごし方を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様の意向を尊重し職員間での情報の共有に努めている。	半分ほどの利用者が言葉で思いや意向を表現でき、難しい方の場合も表情や仕草などから把握している。センター方式のアセスメントシートがあるが、見直しは十分といえない。	センター方式のアセスメントシートについて、生活歴の情報を追加したり、B-3シート(暮らしの情報)を定期的に加筆、見直しを行うことを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人様、ご家族様から聞き取りを行い生活に繋がられるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録の記載、引き継ぎを行うことによりご本人様の様子を把握できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態に応じて必要な支援を提供出来るようにご本人様、ご家族様、職員間、関係機関の職員等、協議を重ね介護計画を作成するよう努めている。	介護計画を4か月で更新している。モニタリングシートをもとにミーティングで職員の意見を集約し、次の計画を作成している。支援経過シートで心身の変化も把握している。個別記録は、計画目標の番号を記載しながら記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づきケアを行い記録に落とし、状態の確認、異なる点を話し合っで見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様にとって必要なサービスを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の状態に合わせ地域資源を活用できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望に応じ、かかりつけ医に受診できるよう支援している。	各利用者がそれぞれ月2回以上、母体病院による訪問診療を受けている。他の病院への受診は家族または事業所が通院を支援している。受診内容を個別に記録している。	

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	不安な事が有れば訪問看護師に相談し受診や看護を受けられる体制である。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院による弊害について双方で理解に努め関係医療機関との関係は良好である。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	毎年。意向確認書を交わしご本人様ご家族様の意向を確認している。チームケアに取り組んでいる。	利用開始時に「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し、同意書を得ている。最近でも3名の看取りを行い、経験を積んでいる。看取り後には振り返りの研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応についてはマニュアルにそって行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練を行うと共に、地域の方にも参加していただき協力体制を築いている。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を住民や防災設備会社の協力のもと行い、年1回は消防署の指導を受けている。一方、職員の救急救命訓練は十分といえない。地震や水害のマニュアル、備蓄品を用意している。	各職員が3年に一回程度、救急救命訓練を受講できるよう取り組みを期待したい。また、地震や水害、停電等の対応、災害時のケア場面別の対応について、職員間で確認しておくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し言動に失礼がないよう理念に基づいた対応を心がけている。	職員は研修で接遇や個人情報の守秘義務を学び日々の業務でプライバシーを確保し、利用者を人生の先輩として人格を重視している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望に沿った対応と自己決定出来るように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の個々のペースに合わせて過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、訪問理容院が来訪し利用者様は楽しみにしている。その方の状態に応じた清潔さが保てるように努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器拭きや洗濯ものを畳んだり出来る範囲で職員と一緒にやっている。	介護度の重い利用者も多く、刻み食やミキサー食など個別の調理法で提供している。パンを移動販売で選んだり、あらかじめ利用者の好みを献立に加えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立の食事を提供。食事の摂取量、水分量は日報に記載。食事形態はミキサー食まで対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の能力に応じた口腔ケアを行っている。寝たきりの方は状況に応じ回数を増やしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その方の状態に応じポータブルトイレや尿瓶の設置。トイレの見守りや介助にて自立にむけた支援に努めている。	各ユニット3か所のトイレがあり、座位が保てる限りトイレへ誘導している。夜間のみ居室のポータブルトイレを利用する時やベッド上でおむつ交換をする場合も、羞恥心に配慮した取り組みをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日本体操への参加を促したり、乳製品を食べて頂いたり便秘しないように対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人の体調に合わせてゆっくりと入浴して頂けるように支援している。	週2回入浴できるよう支援している。入浴を嫌がる場合は日にちや時間を変えて誘っている。状況に合わせて2人介助も行っている。入浴剤を入れたり職員とお喋りを楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを把握し休息したり安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	説明書を個人記録にはさめ内服内容、副作用について把握し共有できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	充分とは言えないが一人一人の役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換できるように支援している。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、外気浴や散歩、買い物に職員と出かけたり、家族旅行を楽しまれる方墓参りに出かける方、それぞれ状況に合わせて外出する機会を設けている。	全員揃っての外出は難しいが、日常的に事業所周辺の散歩や買い物に出かけている。通院の際は車窓から街並みや景色を眺めてくる。家族同伴で外食に行ったり、自宅で夕食を食べてくる利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額管理している利用者様がいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様に電話をしたり、知人と手紙のやり取りができるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が混乱しないような設えにして居心地良く過ごして頂けるように工夫をしている。	中央にあるリビングダイニングで、ソファや食卓の椅子に腰かけ、対面キッチンで調理している職員と話したりテレビを見ている。ゲームや趣味の手芸をする利用者もいる。エアコンや加湿器で温度・湿度が管理され快適な空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせるようにテーブルやソファの配置に配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の馴染みのある物や使い慣れたものを持参して頂き、同様の生活を感じて頂いている。	備え付けのベッド、クローゼット、タンスがあり、それぞれ家族の写真やカレンダー、時計、扇風機を持ち込んでいる。テレビやCDで好きな音楽を聴いてリラックスできる部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮し、トイレ、浴室に目印を付けわかりやすいように配慮している。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901407		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホームらい鳥 3階		
所在地	北海道旭川市末広4条7丁目5番5号		
自己評価作成日	令和1年8月1日	評価結果市町村受理日	令和1年10月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>母体が医療法人のため、医療との連携がとれている。 終末期の対応についても希望があれば、ご本人、ご家族様に安心して最期のときを迎えていただけるように医療と連携し支援させて頂いている。 見守り支援システム非装置型睡眠計(介護ロボット)を導入し、特に夜間・体調不良時に活用している。</p> <p>※覚醒・睡眠・離床の状況をベッドに敷いたマットにて感知シタブレット端末で受信する</p>
---

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901407-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901407-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年9月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念の意義を理解できるようにミーティング等で伝え、職員間で共有し実践できるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への散歩、スーパーへの買い物、また、定期的に訪問理容を利用し地域との繋がりを大事に日常的に交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に地域の方に参加して頂き、認知症の方の支援方法や理解を深めて頂ける様努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に参加していただき、意見や助言を参考にしてサービス向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加して頂き、事業所の実情やサービスで取り組んでいることをお伝えしながら協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束において具体的な行為を理解してもらうために定例ミーティングや新規職員が入社した際研修を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について研修を行い防止と早期発見ができるように努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用しなければならない利用者様が現在はいない。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	充分とは言えないが説明を行い理解して頂けるように努めている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入口玄関の意見箱やご家族様が面会に来訪された際要望をお聞きするようにしている。運営に反映できるように努めている。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ひとり一人の能力や良い所に着目し認め、向上心を持って働けるように職場環境を整えている。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量、資格等考慮しスキルアップに繋げている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターとの交流を図り、勉強会へ参加している。同業者との交流はほとんどない。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の困りごと、不安な事、要望に耳を傾け、信頼関係を構築し安心して過ごして頂けるように関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が安心してサービスを受けられるように、困りごと、不安な事に耳を傾けながら関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様の要望を聞き。必要としているサービスを見極め対応させていただいている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に食器拭きや洗濯ものを畳んで頂いたりと暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際には居室、又はデイルームでお話をして頂き。今の様子を伝える中、ご家族様の意見を参考にしたり不足品の購入をしてもらったりご本人様を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後も関係が継続できるように、過ごしやすい雰囲気を作ることに配慮している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が仲介しながらレクリエーション等を通じて交流が持てるように配慮している。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も気軽にご相談いただけるようお伝えし支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様の意向を尊重し、普段の生活の中から言動を通し本人本位に検討し把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様に生活歴等を詳しくお聞きしてサービスの利用の経過も含め把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム、心身状況、力等の現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングでご本人様、ご家族様の要望に沿いながら職員間で意見を出し合い作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過や個々の記録に残し、職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様のニーズに答えられるよう、その方に合ったサービスを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ひとり一人の暮らしを支えている地域資源について把握できていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望に沿った主治医、医療機関を受診して頂いている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の医療機関から看護師が日々の健康チェック等を行い、職員が困った時には相談できる環境にある。必要に応じて適切な受診を受けて頂けるように対応している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携が密で関係も良好である。入退院時もスムーズである。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際、ご家族様に重度化した場合、終末期の考え等をお聞きしている。ご本人様、ご家族様の意向に沿って事業所で出来ることを伝えながら共に支援に取り組んでいる。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時等に備えて対応ができるように訓練を行い実践力を身に付けている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛消防訓練等、日中帯、夜間帯を想定し全職員が身につけるように行っている。			

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	高齢者を敬う気持ちを持つこと、丁寧な言葉で対応するように心がけている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で自己決定が表出できるよう心がけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースを大切にご本人様の希望に沿って支援させていただいている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理容を利用し来て下さることを心待ちにされている。その人らしいおしゃれができるように支援させていただいている。			

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ひとり一人の能力に合わせ食器拭きのお手伝いを利用者様にお願しい職員は助けられている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食摂量、水分量を把握し職員間で情報を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じた口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ひとり一人の排泄リズムを把握しなるべくトイレで排泄できるように支援させていただいている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	認知症の方にとって便秘の影響は大きいので、排泄のコントロールを行っている。水分量、乳製品の摂取、腹圧をかける運動を取り入れ便秘にならないように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の要望やタイミングを見計らって声かけを行いゆっくり入って頂いている。湯温に配慮したり、入浴剤の使用、ご本人様の好みに合わせくつろいで頂ける様支援させていただいている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方のペースに合わせ、日中の過ごし方に配慮し安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、副作用、用法、用量の把握と症状の変化に留意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり一人の生活歴を把握した上で役割、嗜好品、楽しみごととなる生活を過ごしていただけるよう支援している。また、気分転換できるよう支援が必要である。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ひとり一人戸外に出かけられるよう、ご家族様の協力も得て外出できるように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じお金を所持してもらい使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様や知人の方に手紙を書いたり手紙が届いたりやり取りを楽しみにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	混乱を招かないようにシンプルに設えている。また、季節の花を飾ったり行事を楽しんで頂けるよう掲示したりと季節感を感じて頂けるように設えている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひとりの時間、皆で過ごす時間とその人が思い通りに過ごせるような居場所を確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、馴染みのものや使い慣れたものを持参してもらっている。ご本人様が居心地良く過ごして頂けるように協力を得ている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室には花の名前で自分のお部屋が解るように、また、入浴日はカレンダーやボードに記載し安全に自立した生活が送れるよう工夫している。		

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム らい鳥

作成日：令和 1年 10月 22日

市町村受理日：令和 1年 10月 24日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民との交流が少ない	地域住民との交流が図れる様計画する	○地域の方、ご家族の方へ11月に行う行事に参加を呼び掛ける ○ボランティアの受け入れ <11月～>	3か月
2	4	運営推進会議の内容がマンネリ化している ご家族が参加していない	外部研修に参加したり、運営推進会議の参加者の意見を聞きながらマンネリ化しないように努める ご家族の参加を集う	感染症について外部の研修を受け内部研修やサービスの向上に繋げる 今年度は11月、12月、2月の3回運営推進会議にご家族の参加を集う	6か月
3	23	アセスメントの見直しは十分と言えない	定期的にあセスメントシートの見直しを行う	B-3シート<暮らしの情報>を定期的に加筆、見直しを行う<6か月毎>	6か月
4	35	救急救命訓練の受講ができていない 災害時についてケア場面の対応が具体的になっていない	救急救命訓練を受講する 災害時のケア場面の対応を具体化する	救急救命訓練を今年度中に受講する 災害時についてケア場面の対応を具体的に对应ができるようマニュアルを作成する	6か月
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。